

第42回白門祭

『一祭合祭』

「環境」

をアピールする

実行委員会

初のエコ容器

導入で、

理解・関心促す

多摩キャンパスでは、第42回中央
大学白門祭が「一祭合祭」をテーマに、
10月31日～11月3日の4日間行われ、
多くの人でにぎわった。熱気に包ま
れた会場に足を運び、手にした白門
祭実行委員会発行のパンフレットで、
目にとまったのが「エコ」だった。

エコ容器で簡単リサイクル

「今年度から白門祭ではエコ容器
を導入することにしました」

白実委は、白門祭のパンフレット
の4ページを割いて、エコに配慮し
た白門祭をアピールした。今年特に
力を入れたのが、新たに導入したエ
コ容器だ。

エコ容器は、使い終わると、容器

の表面についている透明のフィルム
を剥がすだけで簡単にリサイクルす
ることができる。剥がした汚れのつ
いたフィルムは不燃ゴミへ、容器自
体は原料として再生され、再び同じ
容器となる。

キャンパス内にいくつも設置され
たゴミステーションには、エコ容器
専用の回収箱が設置され、実行委員
が捨て方を指導する。

昨年はゴミステーション設置

エコ容器は白門祭に定着していく
のだろうか。興味をもった記者は、
エコ容器についてキャンパス内を取



ゴミステーションでの分別

らあったという。「実
行委員を毎年やってい
るとよく、ゴミ、特に
不燃ゴミが多いなど感
じます」と足立さん。

不燃ゴミとなる容器な
どは、形も素材もバラ
バラでリサイクルする
ことができない。「こ
れをなんとかできない
か」と考え、エコ容器
を扱う業者を探し、導
入を決めた。

白門祭が『環境』に
大きく目を向け始めた
のは、昨年からだ。ゴ
ミの分別を徹底するた
め昨年は、ゴミステー
ションを設けた。

まだ少ないエコ容器使用団体

「それでも、他大学の学園祭と比
べると、中大はエコ対策に取り組む
のがとても遅かったですね」と、足
立さんは少し残念そうに話す。他大
学の中には、すでにエコ容器を10

材してまわった。

まず中央ステージ横に設けられた
白門祭実行委員会本部を訪ね、実行
委員の足立慧さん（総合政策学部4
年）にエコ容器を導入するに至った
経緯などを聞いた。

エコ容器を使い始めたのは今年か
らだが、企画案は去年の準備段階か

0%導入している大学もあり、見習う点が多いのだそうだ。

今年の白門祭でエコ容器を使っている団体は、どのくらいいるのだろうか。「恥ずかしながら：約200団体中まだ27団体しかないんです」と足立さん。新しく導入されたエコ容器には、まだまだ解決すべき課題もたくさんあるようだ。

「コスト高が課題のひとつ

大きな課題が3点浮かんできてい



エコ容器を使って販売

2点目は、エコ容器に関する学生や来場者の認知度が低いこと。エコ容器を知らずに他の容器を買っている団体があることや、エコ容器を使っているのに正しく分別できていない人が多などなどの問題が生じている。「エコ容器を使っている出店の前に札を付けたり、ポスターを貼ったりしてエコ容器について広めようと

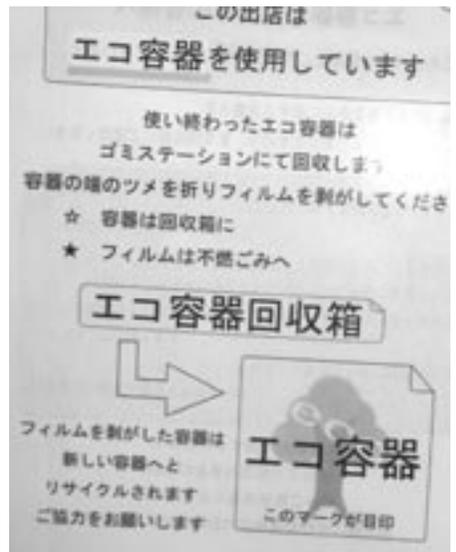
いかに認知度を高めるか

る。1点目は、他の容器に比べてコストがかかることだ。普通の透明の容器だと1枚1〜2円で買えるのに対し、エコ容器は1枚6円かかってしまう。少しでも経費を抑えたい学生たちは、なかなかエコ容器を使わないのが現状だ。白実委では、来年からはエコ容器の使用を強制にする、あるいは実行委員会が大量に仕入れて安く提供するなど、新たな案も検討していくという。

3点目は、認知度不足からくる、エコ容器の回収率の低さだ。「せっかくエコ容器なのに、知らずに全部不燃ゴミに捨ててしまっていることがあります」という。ゴミステーションには実行委員が常時待機し、エコ容器の捨て方や、ゴミの分別の仕方を指導しているが、それでも不燃ゴミ

不燃ゴミに捨て、低い回収率

したが、まだまだアピールが足りないようです。人々がエコ容器をもつと知って、使うことで、やがては大きな環境対策へとつながるはずだと実行委員会は期待する。



出店に貼られたエコ容器使用のチラシ

ミに混ぜてしまいうこともある。回収率が上がらなければ、エコ容器を導入した意味が薄れてしまう。ゴミステーションで分別の指導をしていた、実行委員の小林祐輔さん（経済学部2年）

に話を聞くと、エコ容器の認知度は確かにまだまだだが、捨て方を説明すると「すごいですね!」、「フィルムを剥がすのが楽しい!」などと良い反応が返ってくるようだ。実行委員がエコ容器を分別するのはなく、「実際に捨てる人に体験してもらおうと、エコ容器について知ってもらいたい」と小林さんは、楽しそうに仕事をこなしていた。「コストがかかっても環境のため」

他方、エコ容器を使っている団体は、どういう思いで使っているのだろうか。



初めて行われた eco クイズラリー

また水餃子の出店を出していた塚田大祐さん（文学部4年）は、昨年、実行委員会がエコ容器を推奨していたことを思い出し、「今年から導入されるのであれば使ってみよう」と思ったのだそうだ。他の容器よりもコストがかかってしまうが、と記者が尋ねると、「普段からエコバックを持ち歩くなど、環境に気を配っています。エコ対策のためなら少しのコストは気になりません」と、サラリと答えられた。

このような考えを持つ中大生が増えると、エコ容器も、白門祭のエコ対策全体もさらに進んだものになっていくに違いない。

エコクイズラリーで関心引く

一方、実行委員会は今年、環境問題を理解してもらうため、「エコクイズラリー」というイベントも実施した。環境に配慮した白門祭がどん

記者が所属する団体はエコ容器を使って、フランクフルトを販売したが、事前にエコ容器を使うかどうかについて、メンバーみんなで話し合った。

「コストはかかっても環境のためなら」と肯定的に捉えるメンバーが多かったことがエコ容器を使うきっかけとなった。

どん盛り上がってきている。

記者は「ゴミを分別するのは当たり前」と話す実行委員の足立さんの言葉がとて印象に残った。一人一人の意識が変わり、1つ問題が解決すれば、白門祭のゴミ問題も大きく

改善する。勢いが大切なのだという。「3、4年後には、エコ容器を使う団体が過半数を超えていることが目標です」と足立さんは前を見据えた。（学生記者 石川可南子 法学部1年）

第42回 理工白門祭

研究室公開コンテストで
見学者の評価競う
理工学部長賞に
「応用化学・
分光化学システム研究室」

理工白門祭は、11月1日から3日まで後楽園キャンパスで行われた。

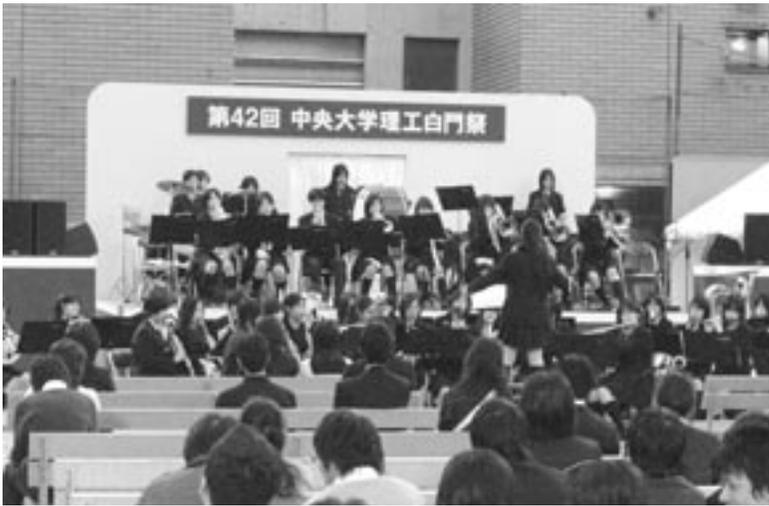
9学科60研究室が参加

期間中、天候に恵まれ、大勢の見学者でにぎわった。その中で、一大企画として催されたのが、「研究室公開コンテスト」。9学科60研究室が見学者に対する説明の分かり易さなどを競い合った結果、「応用化学科・分光化学システム研究室」が理工学

「研究室公開コンテスト」は、研究室を活性化化する目的で、一昨年の理工白門祭第40回記念特別企画として実施したのが大変好評だったため、今回も引き続き実施された。

部長賞に輝いた。

見学者に対して親切であったか、説明が分かりやすかったか、などの観点から研究室の充実度、印象度及



理工白門祭では中大高の・吹奏楽演奏も

最終日の3日に後楽園キャンパスのメイン

8研究室が優秀賞に

コンテストでは、見学者が訪れた研究室の中から上位3つを選び、投票用紙に記入し投票した。

び熱心度について、一般の来場者や学生、表彰委員会（理工学部長、理工学部教員など）が評価し、特に熱心な紹介を行った複数の研究室を顕彰するのが、このコンテスト。今回は全9学科の60研究室がコンテストに参加、研究室を公開した。

親切さ、分かり易さが決めて

当日は理工学部の学生に加え、高校生のグループや親子連れなどが白門祭の見学の後楽園キャンパスを訪れた。各研究室ではボードに写真や数式などの研究内容が貼り出され、

それについて大学院生などが見学者に親切に説明。

また、実際に実験装置やコンピュータのシミュレーションを用いて現象を見せるなど、それぞれ趣向を凝らして分かり易い説明に努めた。



研究室公開コンテストの表彰式

（学生記者 小室靖明 理工学部3年）

副賞の図書カードの総額は30万円で、表彰式では優秀賞に選ばれた研究室が紹介されるたびに大きな歓声が上がっていた。

受賞の図書カードの総額は30万円で、表彰式では優秀賞に選ばれた研究室が紹介されるたびに大きな歓声が上がっていた。

ステージで、各研究室の代表者が一堂に集まるなか、表彰式が行われた。見学者の評価が高かったのは、▽物理学科・フラクタル研究室▽土木工学科・國生研究室▽精密機械工学科・知的計測システム研究室▽バイオメカトロニクス研究室▽電気電子情報通信工学科・二本研究室▽応用化学科・分光化学システム研究室▽経営システム工学科・加藤研究室▽情報工学科・鈴木研究室の8つの研究室で、それぞれ優秀賞表彰された。

の田口東理工学部長から賞状とともに図書カードが贈られた。

レーザー分光研究が理工学部長賞

さらに優秀賞のなかから理工学部長賞に応用化学科・分光化学システム研究室が選ばれた。

この研究室では、「他の手法では、できなかった計測をおこなう」ことを目標に、レーザー分光を中心に研究を行った。レーザー分光とは、光源にレーザーを用いて、対象物の定性・定量や物性を調べる手法だ。

化学反応のダイナミクスを測定する時間分解分光、マイクロチップ内のようなマイクロ・ナノサイズ内での分光法、近接場分光を使った分光の研究を行っている。

第42回白門祭

一祭合祭

多摩キャンパス
10/31～11/3

後樂園キャンパス
11/1～11/3



